学則変更の趣旨等を記載した書類

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

香川大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づく５名の恒久定員増及び「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した５名の臨時定員増を、平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき平成 31 年度までの期限を付した７名の臨時定員増を、また、平成 24 年度及び平成 25 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した各１名の臨時定員増を実施した。

平成 21 年度に実施した平成 29 年度を期限とする５名の入学定員について、平成 30 年度の「新成長戦略」等を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までの期限を付した５名の地域枠として再度の臨時定員増を実施することで、平成 31 年度を期限とする 14 名（「緊急医師確保対策」に基づく５名並びに「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく９名）の臨時定員増を実施した。

平成 31 年度においては、平成 30 年６月 15 日の閣議決定「経済財政運営と改革の基本方針 2018」を踏まえ、地域の医師確保等の観点から、平成 31 年度までに認可を受けた臨時的な定員数から２年間を通じて地域枠の学生を確保できていない定員数を減じた数を上限として入学定員増を行い、令和３年度を期限とする 14 名の臨時定員増を再度実施した。引き続き令和４年度、５年度及び６年度においても、暫定的な維持として１年ごとに 14 名の臨時定員増を実施した。

また、令和７年度においても、「令和７年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和５年 11 月 27 日付 文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長通知）により、「令和７年度末まで１年間延長する」ものとされ、11 名の臨時定員増を実施し、令和７年度入学定員を、臨時定員増を行わなかった場合の 95 名から 106 名に変更する。これに併せて、収容定員についても臨時定員増を行わなかった場合の 595 名から 606 名に変更する。

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性

医療は国民生活に欠くべからざるものであり、誰もがいずれの地域にあっても必要な医療を受けられ、また地域医療に従事する医療従事者が働きがいを感じる医療の現場を実現していくことが必要である。

香川県においては、へき地医療を担う医師や産婦人科と麻酔科などの医師数が全国平均を下回っており、どこでも、適切な医療を享受できる体制を一層整備する必要がある。

政府の「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」に基づき「地域の医療が改善されたと実感できる」実効性のある策を講じて地域医療の向上に寄与するため、医学部医学科の入学定員を令和７年度は 11 名増員する。同時に、学生を卒業後、地域に定着させるための大学の取組として、地域医療に貢献するマインドを持った

医師を養成するための教育プログラムを一層整備する。併せて、卒業生による地域医療への貢献を促進するための取組を実施する。

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

【地域医療を担う医師の養成に関する取組の変遷】

①１年次の授業科目「医学概論」において、香川県立中央病院へき地医療支援センター医師による講義「医療と地域社会」を実施している。また、「医療プロフェッショナリズムの実践」では、山間部医療、在宅医療について、学外の医師から実践的な講義を実施している。平成 24 年度からは地域の医療機関、老人保健施設、福祉施設等にて見学実習を実施している。

②２年次の授業科目「患者との出会い」（令和３年度より新設）において、外来診療の見学等、低学年より患者と接するための実習を実施している。原則、附属病院での実習を予定しているが、将来的には県内の医療機関での実習も検討している。

③３年次の授業科目「臨床総論講義」において、坂出市立病院副病院長による講義「地域に根ざした中核病院・優れた医療人をつくる研修病院を目指して」を実施している。

④４年次の授業科目「衛生学」において、香川県環境保健研究センター等にて地域保健医療の見学実習を実施している。また、「公衆衛生学」おいて、地域医療に関する講義や行政機関での体験学習や訪問調査等を実施している。

⑤香川大学医学部附属病院地域医療教育支援センター（平成 22 年７月設置）により、平成 23 年度から４・５年次の医学実習Ⅰの中で、地域医療臨床実習を１週間実施している。これは、県内の地域医療の基幹となる医療機関での実習であり、当初６医療機関で開始されたが、現在は 20 医療機関の協力を得て実施している。また、医学実習Ⅱは、実習期間を平成 30 年度から 12 週を 27 週とし、５・６年次にまたがる必修科目となっており、地域医療等の病院での地域医療臨床実習は、３週間の選択から必修へ変更し、当初３医療機関で開始されたが、現在は 16 医療機関の協力を得て実施している。これ以外にも、附属病院総合診療科をはじめとした臨床系講座が、県内の病院、診療所での実習を実施している。

⑥香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センター（平成 15 年４月設置）に専任教員を配置し、研修環境やシステムの充実、研修医のニーズに応じた自由度の高い研修プログラムを提供している。

⑦香川大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムでは、２年目に研修医全員が３ヶ月以上最長１年の期間、県内の協力型病院にて研修し、卒後臨床研修を通じて地域医療に貢献している。

⑧香川大学医学部附属病院卒後臨床研修センターが中心となり、香川県での地域密着循環型の卒後臨床研修及び専門医研修のシステムに関する説明会を、在学生には低学年から定期的に実施している。

⑨平成 24 年度に策定された「新地域医療再生計画」に基づき、香川県及び県内の自治体等から「地域連携精神医学講座」「地域医療再生医学講座」「自治体病院支援・推進医学講座」「地域医療連携医学講座」「循環器・腎臓疾患地域医療学講座」「肝・胆・膵内科学先端医療学講座」の地域医療に関連する寄付講座が開設され、より充実した地域医療教育が可能となった。また、令和６年度に新たに「地域医療総合医学講座」を設置し、医師の地域偏在、診療科偏在を解消するため、医師少数区域等への医師配置に向け、地域枠学生・地域枠医師に対する教育・サポートや推奨６診療科（内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医）への誘導の強化、医師不足地域への地域枠医師の派遣調整の実施とともに、医師少数区域等の医療機関で活躍が見込まれる総合診療医の育成・確保を図る。

⑩香川県と連携し、在学中の修学生に対し、香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会（地域医療スピリット）及び地域医療教育支援センター教員・県内の地域医療従事者・義務年限中の医師等を講師として、セミナーを各学年１回/年（学年別セミナー）を提供している。

⑪令和５年度から新たに、１～４年次を対象に、学年毎に年 2－3 回地域医療マインド醸成のため地域医療やその周辺に関することをテーマについての地域医療ワークショップを実施している。

⑫令和５年度から新たに、香川県における総合診療医の育成及び増員を図ることを目的とし、県内の総合診療専門研修基幹病院４病院にて持ち回りにて、学術集会（Sanuki GM Conference）を実施している。

⑬令和４年度「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」（４大学（岡山主幹・香川・鳥取・島根）連携）が採択された。これは主に地域枠学生を対象としたプログラムで、各大学の強みとそれぞれの地域の特色を掛け合わせ、7 年間をかけてその時々の要請を機敏に取り入れてプログラム内容を変化できる地域枠教育プログラムの構築と教育拠点の形成を実現する。これにより、卒後に地域医療への従事を強く志向し地域が求める優れた医療を提供できる医師を確実に養成できる。

令和５年度には、４年次を対象に地域医療特別プログラム、地域枠学生対象のキャリアデザインシミュレーションを実施した。令和６年度は対象者を４年次全員に広げたキャリアデザインセミナーとして実施し、更なる地域医療マインドの醸成を図る。

⑭地域枠学生対象に、制度の説明や義務年限を果たしている医師の経験談、総合診療専門医、地域医療を担っている病院医師の話を聞ける機会を設けることで、総合診療に興味を持つ学生たちも増えている。今後この方面に進んだ医師たちの受け皿について以下のとおり具体的に検討している。

(1)総合診療専門医養成のプログラムを県内で統一検討（令和６年から開始予定)。

(2)自治医大卒業の医師たちとの交流も深め、義務年限を果たした後の拠り所として大学総合内科を拠点とし機能させる。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（医学部医学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
全学共通科目	学びと生き方科目 生き方科目	ライフデザイン	1①②③	1			○			1					兼21
		健康・スポーツ	1前・後	2					○						兼2
		小計（2科目）	－	3	0	0		－		1	0	0	0	0	兼23
	学びと生き方科目 学び科目	大学入門ゼミ	1前	2				○			1	1	3		
		情報リテラシー	1①～②	2			○			1		1			兼2
		学問への扉	1①②③		3		○			2					兼41
		小計（3科目）	－	4	3	0		－		3	1	2	3	0	兼42
	小計（5科目）		－	7	3			－		3	1	2	3	0	兼60
	主題科目	主題	1･2①②③④		6		○			9	3	2	5	0	兼107
		小計（1科目）	－	0	6	0		－		9	3	2	5	0	兼107
	学問基礎科目	哲学	1前・後		2		○								兼1
		論理学	1前・後		2		○								兼1
		倫理学	1前・後		2		○								兼2
		芸術	1前・後		2		○								兼3
		心理学	1前・後		2		○								兼9
		社会学	1前・後		2		○								兼4
		教育学	1前・後		2		○								兼1
		歴史学	1前・後		2		○								兼3
		文学	1前・後		2		○								兼1
		言語学	1前・後		2		○								兼2
		法学	1前・後		2		○								兼3
		政治学	1前・後		2		○								兼1
		経済学	1前・後		2		○								兼1
		経営学	1前・後		2		○								兼1
		数学	1前・後		2		○								兼13
		地学(講義)	1前・後		2		○								兼9
		地学(実験)	1後		2				○						兼3
		物理学(講義)	1前・後		2		○								兼10
		物理学(実験)	1前・後		2				○						兼5
		化学(講義)	1前・後			2	○								兼5
		化学(実験)	1前			2			○						兼2
		生物学(講義)	1前・後			2	○			1	3				兼9
		生物学(実験)	1前			2			○						兼3
		地理学	1前・後		2		○								兼1
		統計学	1前・後		2		○								兼1
		情報科学	1後		2		○								兼2 メディア
		医学	1前・後			2	○			1					オムニバス
		看護学	1前・後		2		○								兼4 オムニバス
		特別・複合領域	1前・後		2		○			1					兼18
		小計（29科目）	－	0	48	10		－		3	3	0	0	0	兼104
	広範教養教育科目	広範教養教育主題科目	1･2･3･4前・後		2		○								兼17 メディア
		小計（1科目）	－	0	2	0		－		0	0	0	0	0	兼17
	高度教養教育科目	高度教養主題科目	2後	2			○								兼25
		上級英語	1･2･3･4前		2				○						兼1
		西洋古典語	1･2･3･4前・後		1		○								兼1
		学部提供教養科目	1･2･3･4前・後		2		○								兼16
		小計（4科目）	－	2	5	0		－		0	0	0	0	0	兼38
	外国語科目 英語	英語	1通・後・2通	5			○								兼10
		小計（1科目）	－	5	0	0		－		0	0	0	0	0	兼10
	外国語科目 初修外国語	ドイツ語	1前・後		4			○							兼5
		フランス語	1前・後		4			○							兼4
		中国語	1前・後		4			○							兼6
		韓国語	1前・後		4			○							兼4
		小計（4科目）	－	0	16	0		－		0	0	0	0	0	兼19
	小計（5科目）		－	5	16	0		－		0	0	0	0	0	兼29
	区分計（45科目）		－	14	80	10		－		12	5	4	6	0	兼270
専門基礎科目		医用物理学	1前	2			○		※		1				※実験・実習
		医用化学Ⅰ	1通	2			○		※	1	1		1		※実験・実習
		医用化学Ⅱ	2前	1			○			1					
		医科生物学	1通	2			○		※	1					※実験・実習
		細胞生物学	2前	1			○			1					
		数理科学	1前	1			○			1					兼1
		生物統計学	1後	1			○	※		1	2		2		※演習
		分子遺伝学	2前	2			○			1	1				
		分子生物学	2通	2			○			1	2				
		医療心理学	1前	1			○								兼2
		小計（10科目）	－	15				－		6	6		3		兼3
早期医学		医学概論	1前	1			○			7	2	1	2		兼4 オムニバス
		早期体験学習	1後	1			※		○		1				※講義
		医療プロフェッショナリズムの実践	1後	2			○		※	2	2				兼1 ※実験・実習
		行動科学とチーム医療	2前	2			※		○	1					※講義
		医療倫理学	2後	1			○			1					
		医学と研究	2後	1			○			2					
		医学・医療と社会	2後	1			○			1					
		患者との出会い	2後	1				○		1					
		早期医学実習Ⅰ	1後			1			○	1					
		早期医学実習Ⅱ	2後			1			○	2					
		小計（10科目）	－	10		2		－		13	4	1	2		兼5
学際医学		医学英語Ⅰ	3前	1				○							兼2
		医学英語Ⅱ	3後	1				○							兼2
		国際交流活動	1･2･3･4･5･6			1			○	4					
		小計（3科目）	－	2		1		－		4					兼4
基礎医学		解剖学Ⅰ	2通	4			○		※	1	1		2		※実験・実習
		解剖学Ⅱ	2通	4			○		※	1		1	1		※実験・実習
		生理学Ⅰ	2前	2			○		※			1	1		兼1 ※実験・実習
		生理学Ⅱ	2通	2			○		※	1	1		2		※実験・実習
		生化学	2通	3			○		※	1	1		1		※実験・実習
		内分泌学	3前	2			○		※	2		1	3		※実験・実習
		病理学Ⅰ	3前	2			○		※	1	1		2		※実験・実習
		病理学Ⅱ	3前	2			○		※	1	1		2		※実験・実習
		免疫学	3前	2			○		※	1					※実験・実習
		薬理学	3前	2			○			1			2		
		生理・薬理実習	3前	1					○	2	1	1	5		オムニバス
		微生物学	3前	2			○		※	2		1	2		兼2 ※実験・実習
		医動物学	3前	2			○		※		1				※実験・実習
		小計（13科目）	－	30				－		11	6	4	17		兼3

社会医学	衛生学	4前	2			○		※	1	2		2				※実験・実習
	公衆衛生学	4前	2			○		※	1	2		2				※実験・実習
	法医学	4前	2			○		※	1			2				※実験・実習
	小計（3科目）	－	6			－			2	2		4				
統合講義等	臨床総論講義	3後	2			○			1						オムニバス	
	症候論・PBLチュートリアル	3･4通	2			○		※	1	1						※実験・実習
	消化器ユニット	3後	3			○		※	3	1		2			オムニバス	※実験・実習
	循環器ユニット	3後	3			○		※	3	4	2	9			オムニバス	※実験・実習
	呼吸器ユニット	3後	2			○		※	2	2	2	6			オムニバス	※実験・実習
	腎泌尿器ユニット	4前	2			○		※	2	1	1	4		兼1	オムニバス	※実験・実習
	小児科ユニット	4前	3			○		※	1	3	3	10		兼2	オムニバス	※実験・実習
	脳神経筋骨格ユニット	3後	3			○		※	3	2	3	12			オムニバス	※実験・実習
	精神神経ユニット	3後	3			○		※	2	2				兼1	オムニバス	※実験・実習
	生殖系ユニット	4前	2			○		※	2	3	1	6			オムニバス	※実験・実習
	内分泌代謝ユニット	3後	2			○		※	3	1		7			オムニバス	※実験・実習
	血液系ユニット	4前	2			○		※	1		1	2			オムニバス	※実験・実習
	膠原病ユニット	4前	2			○				1					オムニバス	
	皮膚感覚系ユニット	4前	4			○		※	7	2	1	7			オムニバス	※実験・実習
	麻酔ユニット・救急災害ユニット	3後	1			○		※	2	2		1			オムニバス	※実験・実習
	感染症ユニット	4前	1			○			5	3	2	3			オムニバス	
	放射線ユニット	3後	1			○			2	1	2	7		兼2	オムニバス	
	医科学研究	3後	2					○	1							
	小計（18科目）	－	40			－			31	20	17	65		兼6		
臨床医学	医学実習Ⅰ	4後･5前	14					○	26	16	1	40				
	血液･免疫･呼吸器内科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	循環器・腎臓・脳卒中内科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	消化器・神経内科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	小児科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		3				※実験・実習
	精神神経医学	4後･5通･6通	1			○		※	1			2				※実験・実習
	皮膚科学	4後･5通･6通	1			○		※	1							※実験・実習
	放射線医学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		3				※実験・実習
	放射線腫瘍学	4後･5通･6通	1			○		※	1							※実験・実習
	消化器外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1			2				※実験・実習
	呼吸器・乳腺内分泌外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1		1	2				※実験・実習
	心臓血管外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		1				※実験・実習
	脳神経外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	整形外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	形成外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1							※実験・実習
	泌尿器科学	4後･5通･6通	1			○		※	1			3				※実験・実習
	眼科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	耳鼻咽喉科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	周産期学婦人科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		3				※実験・実習
	小児外科学	4後･5通･6通	1			○		※		1		2				※実験・実習
	麻酔学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	救急災害医学	4後･5通･6通	1			○		※	1							※実験・実習
	歯科口腔外科学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		2				※実験・実習
	内分泌代謝・臨床検査医学	4後･5通･6通	1			○		※	1	1		1				※実験・実習
	総合診療医学	4後･5通･6通	1			○		※	1							※実験・実習
	地域医療学	4後･5通･6通	1			○		※	1							※実験・実習
	児童精神医学	5後	1			○			1			1		兼1		
	漢方医学	5前	1			○			1							
	臨床病理検討会	5･6前	2			○			3	3		4		兼1	オムニバス	
	医療管理学・診断学	4後･5通	2			○		※	2	1				兼4		※実験・実習
	医学実習Ⅱ	5後･6前	10					○	26	16	1	40				
	医療総合講義	6前	2			○			1						オムニバス	
	小計（32科目）	－	57			－			28	20	1	44		兼6		
区分計（89科目）		－	160		3				45	31	8	63		兼44		
合計（134科目）		－	174	80	13	－			45	31	8	63				

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全学共通科目 ライフデザイン1単位 健康・スポーツ2単位 大学入門ゼミ2単位 情報リテラシー2単位 主題科目6単位以上 学問基礎科目（文系科目）2単位以上 広範教養教育科目・高度教養教育科目2単位以上 ※学問への扉・主題科目（文系科目・理系科目）・学問基礎科目および広範教養教育科目・高度教養教育科目15単位以上 既修外国語5単位以上 初修外国語4単位以上 合計　31単位以上 学部開設科目 専門基礎科目15単位 早期医学10単位以上 学際医学2単位以上 基礎医学30単位 社会医学6単位 総合講義等40単位 臨床医学57単位 総計　191単位以上	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業時間	90分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

5　「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

6　課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。

（１）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。

（２）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。

（３）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

１．地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	11

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	香川県	11
大学所在地以外の都道府県		
計		11

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R5地域枠定員（※1）	R5貸与者数（※2）	R6地域枠定員（※1）	R6貸与者数（※2）	R5とR6の貸与者数のうち多い方の数
香川県	14	14	14	14	14
					0
					0
					0
					0
					0
計	14	14	14	14	14

（※1）臨時定員分のみご記入ください。
（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。
※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和7年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和5年度に実施した**地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定（推奨）がある場合）その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
地域枠（学校推薦）	（ⅰ）学校推薦型選抜	別枠（区別型）	30	5	・学校長から提出される推薦書・調査書の内容及び本学部が実施する小論文・面接の結果を総合的に判断し、大学入学共通テストの成績を参考にして合格者を決定します。 ・大学入学共通テストの地歴及び公民について、2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。 ・大学入学共通テストの『英語』は、リーディング及びリスニングの成績を利用します。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。 《合否判定基準》 ア 小論文と面接評価の総合点で順位を決定します。 ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。 イ 本学が指定した大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は、総合点の如何にかかわらず不合格とします。 また、面接の結果をもって総合点の如何にかかわらず不合格となることがあります。 ウ 地域枠（学校推薦）にあっては、上記に加え香川県による面接の結果を参考として合否を決定します。 ※上記の合否判定基準に関する個別の問い合わせについては、応じられません。 ① 小 論 文 小論文は、単なる作文力のテストではなく、学校長から提出される推薦書及び調査書の記載内容等を補完するとともに、大学入学共通テストではみることができない論理的思考力、倫理観、社会性等をみるために行います。 小論文の出題は、英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。なお、小論文Ⅱは出題3題のうち2題を選択して解答とします。 ② 面 接 面接は、医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行います。 なお、志望理由書、推薦書、調査書を面接の重要な資料として用います。 地域枠（学校推薦）にあっては、通常の面接に加え、香川県による面接があります。	次の各号の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 （1）高等学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月に卒業見込みの者 （2）高等学校における学習成績が優秀で、かつ、調査書の学習成績概評又は評定平均値がA段階に属する者 （3）高等学校において、物理、化学及び生物（理数科等にあっては、理数物理、理数化学及び理数生物）のうちから2科目以上、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科等にあっては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）並びにコミュニケーション英語Ⅲ及び英語表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者 ただし、教育課程の編成等により履修内容が上記科目区分によらない場合、また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件にしている者については、履修科目について弾力的に取り扱う余地がありますので、高等学校長を通して必ず2023年9月29日（金）までに問い合わせてください。所定の期日までに問い合わせのない場合は、出願を受理しません。 （4）合格した場合は、入学を確約できる者 【推薦人員】 卒業見込者：1校につき8人までとします。 既 卒 者：1校につき1人までとします。ただし、香川県内の高等学校については、1校につき7人までとします。 「地域枠（学校推薦）」募集人員5人 前記、医学部医学科の要件すべてに該当し、かつ、次の要件すべてに該当する者であって、人物が優秀で、将来、香川県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者に限ります。 なお、地域枠（学校推薦）に出願する場合には、通常の推薦枠と併せて出願することができます。 （1）香川県内の高等学校を2022年4月以降に卒業した者及び2024年3月に卒業見込みの者 （2）「香川県医学生修学資金」※の貸付けを受ける者 （3）将来、県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）、医師の業務に従事する意志のある者 ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ https://www.pref.kagawa.lg.jp/ から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。 「地域枠（学校推薦）」は募集人員5人となるよう認可申請予定です。 人数については予定であり、変更があり得ます。変更があった場合は、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/）ですみやかに公表します。	有（推奨）	内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医の６診療科	H21以前	
地域枠（一般）	（ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	79	9	入学者の選抜は、大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。 《合否判定基準》 ・総合点により合否を判定します。 ・医学部医学科前期日程では、総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え、地域枠（一般）では、香川県による面接の結果を参考として合否を決定します。 《大学入学共通テスト及び個別学力検査の取扱いについて》 ・本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は、個別学力検査を受験することができませんので、注意してください。 ・大学入学共通テストの外国語で『英語』を選択する受験者は、必ず「リーディング」と「リスニング」の両方を受験してください。 両方を受験していない場合は、個別学力検査を受験することができません。 ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみとします。 ・本学が課している大学入学共通テスト及び個別学力検査の教科・科目等全てを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】【5教科7科目】 国　語：『国語』必須 地歴・公民：「世B」、「日B」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、『倫・政経』から1科目 数　学：『数Ⅰ・数A』必須 　『数Ⅱ・数B』、『簿・会』、『情報』から1科目 理　科：「物」、「化」、「生」から2科目 外国語：『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1科目 【個別学力検査等】【3教科4科目】 数　学：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』必須 理　科：『物基・物』、『化基・化』、『生基・生』から2科目 外国語：『英語』必須 面　接：医学科における面接は、医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。 地域枠（一般） 「地域枠（一般）」の大学入学共通テストの教科・科目及び個別学力検査の実施教科・科目等については、一般入試（前期日程）と同じです。それに加え、香川県による面接があります。	医学部医学科の地域枠（一般）に出願できる者は、上記の出願資格に該当し、かつ、「地域枠（一般）」で出願し合格した場合は、次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります。 なお、地域枠（一般）に出願する者は、通常の一般選抜（一般枠）を併せて出願することができます。 ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2024年3月までに卒業見込みの者 ② 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者 ③ 将来、香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）医師の業務に従事する意志のある者 ※「香川県医学生修学資金」の詳細は、香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。	有（推奨）	内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医の６診療科	H22	※地域枠定員は前期のみ

合計			109	14						

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②**令和６年度に実施する**地域枠学生(令和７年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定（推奨）がある場合）その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
地域枠（学校推薦）	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（区別型）	30	5	・学校長から提出される推薦書・調査書の内容及び本学部が実施する小論文・面接の結果を総合的に判断し，大学入学共通テストの成績を参考にして合格者を決定します。 ・大学入学共通テストの地歴及び公民について，2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。ただし，指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は，合格者とはなりませんので，注意してください。 ・大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は，リスニングを含みます。ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。 《合否判定基準》 ア 小論文と面接評価の総合点で順位を決定します。 　ただし，小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。 イ 本学が指定した大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は，総合点の如何にかかわらず不合格とします。また，面接の結果をもって総合点の如何にかかわらず不合格となることがあります。 ウ 地域枠（学校推薦）にあっては，上記に加え香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。 　※上記の合否判定基準に関する個別の問い合わせについては，応じられません。 ① 小論文 　小論文は，単なる作文力のテストではなく，学校長から提出される推薦書及び調査書の記載内容等を補完するとともに，大学入学共通テストではみることができない論理的思考力，倫理観，社会性等をみるために行います。 　小論文の出題は，英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。なお，小論文Ⅱは出題3題のうち2題を選択して解答します。 ② 面　接 　面接は，医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみるために行います。なお，志望理由書，推薦書，調査書を面接の重要な資料として用います。地域枠（学校推薦）にあっては，通常の面接に加え，香川県による面接があります（募集については調整中）。	次の各号の要件すべてに該当する者であって，人物が優秀で，高等学校長が責任をもって推薦できる者 （1）高等学校を2023年４月以降に卒業した者及び2025年３月に卒業見込みの者 （2）高等学校における学習成績が優秀で，かつ，調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 （3）高等学校において，物理，化学及び生物（理数科等にあっては，理数物理，理数化学及び理数生物）のうちから2科目以上，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科等にあっては，理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ）並びに英語コミュニケーション Ⅲ及び論理・表現Ⅱ（旧教育課程履修者についてはコミュニケーション英語Ⅲ及び英語表現Ⅱ）を履修（見込みを含む。）した者 　ただし，教育課程の編成等により履修内容が上記科目区分によらない場合，また外国の高等学校での取得単位を高等学校の卒業要件にしている者については，履修科目について弾力的に取り扱う余地がありますので，高等学校長を通じて必ず2024年9月27日（金）までに問い合わせてください。所定の期日までに問い合わせのない場合は，出願を受理しません。 （4）合格した場合は，入学を確約できる者 【推薦人員】 卒業見込者：1校につき8人までとします。ただし，香川県内の高等学校については，1校につき10人までとします。 既　卒　者：1校につき1人までとします。ただし，香川県内の高等学校については，1校につき10人までとします。 「地域枠（学校推薦）」は募集人員5人となるよう調整中です。 人数については予定であり，変更があり得ます。募集人員が確定次第，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/）ですみやかに公表します。 詳細は，2025年度学校推薦型選抜Ⅱ学生募集要項を参照してください。 前記，医学部医学科の要件すべてに該当し，かつ，次の要件すべてに該当する者であって，人物が優秀で，将来，香川県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち，高等学校長が責任をもって推薦できる者に限ります。 なお，地域枠（学校推薦）に出願する場合には，通常の推薦枠と併せて出願することができます。 （1）香川県内の高等学校を2023年４月以降に卒業した者及び2025年３月に卒業見込みの者 （2）2024年度に本学で実施する地域医療セミナーを受講した者 （3）「香川県医学生修学資金」※の貸付けを受ける者 （4）将来，県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間），医師の業務に従事する意志のある者 　※ 地域医療セミナーの詳細は，医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/igaku/chiikiiryouseminar/）を参照してください。 　※「香川県医学生修学資金」の詳細は，香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。	有（推奨）	内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医の６診療科	H21以前	

地域枠（一般）	（ⅲ）一般選抜 地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	76	6	入学者の選抜は，大学入学共通テストと本学が実施する個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。 《合否判定基準等》 ・総合点により合否を判定します。 ・総合点が受験者の中で著しく低い者については，不合格とすることがあります。 ・医学部医学科前期日程では，総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え，地域枠（一般）では，香川県による面接の結果を参考として合否を決定します（募集については調整中）。 《大学入学共通テスト及び個別学力検査の取扱いについて》 ・本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は，個別学力検査を受験することができませんので，注意してください。 ・大学入学共通テストの外国語で『英語』を選択する受験者は，必ず「リーディング」と「リスニング」の両方を受験してください。 　両方を受験していない場合は，個別学力検査を受験することができません。 　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。 ・本学が課している大学入学共通テスト及び個別学力検査の教科・科目等全てを受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】〔6教科8科目〕 国　語：「国」必須 地歴・公民：「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「公，倫」，「公，政・経」から1科目 数　学：「数Ⅰ・数A」必須 　　「数Ⅱ，数B，数C」必須 理　科：「物」，「化」，「生」から2科目 外国語：「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1科目 情報：「情Ⅰ」必須 【個別学力検査等】〔3教科4科目〕 数　学：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』必須 理　科：『物基・物』，『化基・化』，『生基・生』から2科目 外国語：『英語』必須 面　接：医学科における面接は，医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。 　　地域枠（一般） 「地域枠（一般）」の大学入学共通テストの教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等については，一般選抜（前期日程）と同じです。それに加え，香川県による面接があります（募集については調整中です）。	医学部医学科の地域枠（一般）に出願できる者は，上記の出願資格に該当し，かつ，「地域枠（一般）」で出願し合格した場合は，次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります（募集については調整中）。 なお，地域枠（一般）に出願する者は，一般枠（通常の一般選抜）を併せて出願することができます（募集については調整中）。 ① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2025年3月までに卒業見込みの者 ②2024年度に本学で実施する地域医療セミナーを受講した者 ③「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者 ④ 将来，香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（9年間）医師の業務に従事する意志のある者 　※地域医療セミナーの詳細は，医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/igaku/chiikiiryouseminar/）を参照してください。 　※「香川県医学生修学資金」の詳細は，香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。	有（推奨）	内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医の６診療科	H22	※地域枠定員は前期のみ
合計			106	11						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット，ホームページ，テレビ，新聞，雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和７年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、「医学概論」において医療と地域社会の講義や「医療プロフェッショナリズムの実践」として地域の医療機関・老人保健施設等での臨地実習を実施している。2年次には、令和3年度より「患者との出会い」という科目を新設し、外来診療の見学等、低学年より患者と接する機会を設けている。3年次には「臨床総論講義」、6年次には「医療総合講義」において地域医療機関の先生により地域医療に関する講義を実施している。4年次には、「衛生学」において香川県環境保健研究センター等施設にて地域保健医療の見学実習及び「公衆衛生学」において「地域医療の現状と課題」講義や学外での体験学習や訪問調査等を実施している。4～5年次には、「医学実習Ⅰ」として1週間の地域医療臨床実習を、5～6年次には、「医学実習Ⅱ」として平成30年度から3週間の地域医療臨床実習を実施している。	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和７年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成21年度から地域枠による増員を開始し、修学生の意見交換会や、地域医療スピリット、ランチョンセミナーなどの取組を行ってきた。令和５年度までに114名の地域枠学生が卒業し、現在96名が義務期間として県内の配置指定医療機関で地域医療に貢献している。義務修了者のうち11名も引き続き県内の医療機関等で勤務をしている。	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和６年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
１年次	医学概論	全員	必修	必修	講義	1	H21以前
１年次	医療プロフェッショナリズムの実践	全員	必修	必修	実習	2	H24
２年次	患者との出会い	全員	必修	必修	実習	1	R3
３年次	臨床総論講義	全員	必修	必修	講義	2	H21以前
４年次	衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
４年次	公衆衛生学	全員	必修	必修	実習	2	H21以前
４～５年次	医学実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	14	H21以前
５～６年次	医学実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	10	H30
６年次	医療総合講義	全員	必修	必修	講義	2	H24

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
2～3年次	(ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業)地域医療ﾌｨｰﾙﾄﾞﾘｻｰﾁ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	全員	なし	5週間	早期地域医療体験で認識した地域医療の構造的課題の解決と医学研究の発展に向けてコミュニケーション能力や批判的・創造的思考力等の資質・能力を身につけ、種々の医療課題をより科学的な視点から深く考察できる人材を養成する	R4
2、5年次	(ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業)地域医療　全人的医療教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	全員	なし	4大学で調整中	地域医療に従事するにあたり、患者、家族、地域のニーズにあった全人的医療を提供できる人材を養成する	R4
4年次	キャリアデザインセミナー	全員	なし	年1回	キャリアデザインにより、地域医療マインドの醸成を図る※R5年度に4，5年次の地域枠学生実施に実施していたキャリアデザインシミュレーションを本セミナーに集約して実施することとした	R6

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和５年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度	取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域医療ｽﾋﾟﾘｯﾄ	香川県と連携し、修学生に対して香川県内の地域医療の現場を地域住民と触れ合いながら学べる機会を提供している。	H21以前	香川県修学生のための病院見学ﾂｱｰ	医師の地域偏在および地域枠学生に対する教育の一環として、義務年限配置の病院を理解するための病院見学ﾂｱｰを実施する。（令和6年度から開始予定）	R6
学年別ﾗﾝﾁｮﾝｾﾐﾅｰ	修学生（2～5年次生）を対象に、地域医療教育支援センター教員・県内の地域医療従事者・義務年限中の医師等を講師としてランチョン形式のセミナーを各学年１回/年 実施している。	R3			
自治医科大学と香川大学医学部卒業の義務年限医師の交流会	義務中の不安を払拭しスムーズに義務年限の修了へ導くことで、地域医療マインドの醸成につなげ離脱者の減少や義務年限修了後も香川県に定着して診療を行えるよう、香川県内の義務年限中の医師同士（自治医科大学卒業生と香川大学医学部地域枠卒業生）の交流会を実施している。	R4			
Sanuki GM Conference	香川県における総合診療医の育成及び増員を図ることを目的とし、県内の総合診療専門研修基幹病院４病院にて持ち回りにて、学術集会の開催を行うものである。	R5			
地域医療ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	修学生（1～4年次）を対象に、学年毎に年2－3回地域医療マインド醸成のため地域医療やその周辺に関することをテーマについてのワークショップを実施している。	R5			

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

２．都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定（推奨）がある場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
香川県	11	新入生	120,000	8,640,000	医師の免許取得後直ちに、9年を限度とする義務年限において、県内の基幹型臨床研修病院のプログラムに基づく初期臨床研修を開始し、これを終了した後、引き続き、7年を限度として、知事が貸付者ごとに指定する医療機関等において業務に従事したとき。	②大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施	○	有（推奨）	専門診療科では、内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、総合医の6診療科	香川県による面接の結果を参考として、合否を決定する。 地域枠（学校推薦）5名 地域枠（一般）　6名 月額×72カ月分は全学香川県が奨学金として貸与する。

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度	取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
香川県と修学生の意見交換会（1-5年次生）	修学生（1-5年次生）を対象に香川県からの制度説明を年1回実施	H27	診療科キャリアパスシート（診療科）	地域枠学生に対して、進路（専門研修）を決定する上で参考となるように各診療科に基本領域・サブスペ領域の研修可能な配置先病院がわかる資料の作成を依頼し、地域枠学生に配布および説明会を実施する予定している。	R6
香川県と修学生の意見交換会（1年次生）	修学生（1年次生）を対象に香川県からの制度説明を年1回実施	R1	指定医療機関別シート（配置先病院）	地域枠学生・義務期間医師に対して、義務年限期間の配置先病院を選択する際の参考となるように各病院の概要・経験可能な症例数・福利厚生に関する資料の作成を依頼し、地域枠学生・義務期間医師に配布および説明会を実施する予定にしている。	R6
個別面談	在学中の学生・義務年限中医師に対する香川県と連携した相談・指導のための個別面談を年1回/人、成績不振者に係る面談を10月頃に実施 ※それ以外の相談にも随時対応	R2			

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

３．その他

<u>１～２に記入したもの以外で、</u>その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

◆地域枠学生対象に、制度の説明や義務年限を果たしている医師の経験談、総合診療専門医、地域医療を担っている病院医師の話を聞く機会を設けることで、総合診療に興味を持つ者が増えている。今後を見据えて、この方面に進む医師たちの受け皿について以下のとおり具体的に進めている。

(1)総合診療専門医養成のプログラムを県内で統一（令和6年から開始）

(2)自治医大卒業の医師たちとの交流も深め、義務年限を果たした後の拠り所として大学総合内科を拠点とし機能させる。

◆令和5年度から、地域医療の担い手となる意識の向上と同じ義務を持つ医学生同士の仲間意識の醸成のため、本学地域枠・自治医科大学合格者を対象に香川県知事からの激励会を実施している。

◆令和6年度から香川県の寄附講座として設置された地域医療総合医学講座を地域枠医師配置の総合窓口として、積極的な医師不足地域への派遣について各医局との交渉を行っていく予定である。

◆2024年度に実施する2025年度入学者選抜の改革（2023年３月　2年前告知済）

(1)2024年度に実施する2025年度入学者選抜から、医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの地域枠（学校推薦）及び医学部医学科一般選抜（前期日程）の地域枠（一般）の出願に、本学で実施する地域医療セミナー受講を要件とする。

　※志願者が地域医療について十分に理解した上で出願できる環境を整備（離脱抑制）

(2)2024年度に実施する2025年度入学者選抜から、医学部医学科学校推薦型選抜Ⅱの推薦要件の緩和及び香川県内高校からの推薦枠を拡充

　※県内出身者の入学者増加を図り、香川県内での研修医の増加に繋げる。

６医国第１０８２２２号
令和６年８月１３日

厚生労働省医政局長　様

香川県健康福祉部長　長尾　英司

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和６年８月７日付け６文科高第 738 号、医政発 0807 第５号に基づき、下記のとおり、令和７年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

１１名

・香川大学医学部における地域枠：１１名

担　　当：香川県健康福祉部医務国保課
医療人材グループ　篠原、日下
電話番号：０８７－８３２－３３２１
Ｅｍａｉｌ：imu@pref.kagawa.lg.jp